

「障がい者舞台芸術フェスティバル」 オンステージ・フェス 「コンクールの部」 出演者選考要領

(趣旨)

第1条 この要領は、「障がい者舞台芸術フェスティバル」の「コンクールの部」の出演者の選考に関して必要な事項を定めるものとする。

(選考委員の職務)

第2条 「障がい者舞台芸術フェスティバル」の選考委員は、選考委員会において審議を行い、「コンクールの部」への出演を希望する応募者の中から出演者を選考する。

(選考の対象)

第3条 選考委員は、「コンクールの部」への出演を希望するすべての応募者について審議し、選考しなければならない。

2 選考委員は、応募者のうち、過去2年以内に1か月以上個人的に指導をした者、師弟関係にある者、親族（四親等内の血族、三親等内の姻族若しくは同居の親族）又は選考委員本人の判断により選考を棄権したい者がいる場合は、その応募者の選考をすることはできない。その場合、選考委員は公益財団法人岐阜県教育文化財団事務局（以下、「事務局」という。）にその旨を届け出なければならない。

(選考通過人数)

第4条 「障がい者舞台芸術フェスティバル」における各フェスの「コンクールの部」の選考通過者数は、次の各号のとおりとする。

(1) 「オンライン・フェス」 上位5組程度

(2) 「オンステージ・フェス」 上位1組

2 前項第1号の通過者数は、選考委員が必要と認める場合は変更することができる。

(選考基準)

第5条 選考は、「音楽性」、「表現力」、「完成度の高さ」、「独自性」、「将来への期待度」などを評価基準とし、障がいの種類や重度さは選考の際の基準とはしないものとする。ただし、「オンステージ・フェス」の各賞の選考については、この限りではない。

(「オンライン・フェス」の選考)

第6条 「オンライン・フェス」の選考については、選考委員が選考委員会に先立ち、選考基準により所定の選考審査表選考結果欄に「○」(通過)を記入し、事務局に提出する。

2 事務局は、応募者別に算出した「○」(通過)の獲得数を選考委員会において選考委員に提出し、獲得数を基礎にして選考委員の協議により通過者を最終的に決定する。

(「オンステージ・フェス」の選考)

第7条 「オンステージ・フェス」の選考については、選考委員の協議により上位1者を決定する。

2 「オンステージ・フェス」の選考においては、「オンライン・フェス」の選考結果は考慮しないものとする。

3 「オンステージ・フェス」の上位1者以外の通過者に対し、選考委員の協議により各賞を授与することができる。

(選考の公表)

第8条 選考の結果については、通過者及び受賞者のみを公表し、選考内容については公表しないものとする。

(出演決定後の支援)

第9条 事務局は、出演者の決定後、そのパフォーマンスをステージ上で最大限に発揮できるよう、ゲストその他関係者と緊密に連携し、出演を支援する体制を組まなくてはならない。

(その他)

第10条 選考に関して、この要領に基づく処理が困難な問題が生じたときは、事務局が選考委員とその都度協議の上、決定する。

附 則

この要領は、令和3年9月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和5年9月8日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年9月2日から施行する。